

<学校評価報告>

重点項目について 児童・保護者・教職員のアンケート結果（R7年度前期）

○ アンケート回答項目

4：よくあてはまる 3：だいたいあてはまる
2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない 無：わからない、無回答

○ 集計評価区分

A：十分に達成（肯定率90%以上かつA評価35%以上） B：相当程度達成（肯定率75%以上）

C：やや不十分（肯定率60%以上） D：不十分（肯定率60%未満）

※肯定率とは、アンケートで4・3を選んだ割合。

※昨年度と比較し、特に評価の変化があった場合に△▼を記入。

① 学校生活

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
学校は、楽しいですか。	R6.12	A	児 童	60	44	4	0	96	56	-
	R7.7	A	児 童	57	41	8	1	92	53	
子どもは学校が楽しいと言っている。	R6.12	B	保護者	47	39	12	1	87	47	-
	R7.7	B	保護者	51	30	9	2	88	55	
児童が楽しいと感じられる学校づくりに努めている。										-
	R7.7	A	教職員	6	5	0	0	100	55	

② 授業

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
授業は、分かりやすいですか。	R6.12	A	児 童	51	51	3	3	94	47	-
	R7.7	A	児 童	63	38	5	1	94	59	
子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	R6.12	B	保護者	33	45	18	3	79	33	-
	R7.7	B	保護者	45	36	10	1	88	49	
分かる授業・楽しい授業づくりに努めている。										-
	R7.7	A	教職員	4	7	0	0	100	36	

③ 家庭学習の習慣

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
家庭学習はできていますか。	R6.12	A	児 童	54	46	8	0	93	50	-
	R7.7	A	児 童	62	36	8	1	92	58	
子どもは家庭学習に頑張っており取り組んでいる。	R6.12	C	保護者	35	34	24	6	70	35	△
	R7.7	B	保護者	36	42	11	3	85	39	
児童に家庭学習の習慣が身に付いている。	R6.12	B	教職員	0	10	1	0	91	0	-
	R7.7	B	教職員	2	9	0	0	100	18	

④ あいさつ

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
気持ちのよいあいさつができていますか。	R6.12	B	児 童	46	43	17	2	82	43	-
	R7.7	B	児 童	55	34	16	2	83	51	
子どもは気持ちのよいあいさつができています。	R6.12	C	保護者	20	42	28	8	63	20	-
	R7.7	C	保護者	33	34	22	2	74	36	
気持ちのよいあいさつのできる児童が育っている。	R6.12	B	教職員	0	9	2	0	82	0	▼
	R7.7	C	教職員	0	7	4	0	64	0	

⑤ 正しい言葉遣い

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
正しい言葉遣いができていますか。	R6.12	B	児 童	33	59	15	1	85	31	-
	R7.7	B	児 童	38	52	15	2	84	36	
子どもは正しい言葉遣いができています。	R6.12	D	保護者	10	37	44	9	47	10	△
	R7.7	C	保護者	17	44	28	3	66	18	
正しい言葉遣いのできる児童が育っている。	R6.12	C	教職員	0	8	3	0	73	0	-
	R7.7	C	教職員	1	6	4	0	64	9	

⑥

評 価 項 目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
きまりや時間を守って生活できていますか。										-
	R7.7	B	児 童	52	38	10	1	89	51	
子どもはきまりや時間を守って生活している。										-
	R7.7	B	保護者	38	42	11	1	87	41	
きまりや時間を守る児童が育っている。	R6.12	B	教職員	1	8	2	0	82	9	-
	R7.7	B	教職員	1	8	2	0	82	9	

⑦ いじめや差別のない学級づくり

評価項目		評価	評価者	4	3	2	1	肯定率(%)	評価4(%)	比較
相手のことを考えて友達にやさしくできていますか。	R6.12	A	児童	53	51	3	1	96	49	-
	R7.7	A	児童	53	47	6	1	93	50	
子どもは友達にやさしく接している。	R6.12	B	保護者	32	46	17	3	80	33	△
	R7.7	A	保護者	39	51	2	0	98	42	
友達にやさしく接することのできる児童が育っている。	R6.12	B	教職員	3	8	0	0	100	27	-
	R7.7	B	教職員	2	9	0	0	100	18	

【今後の方向性】

「目標に向かって主体的に行動する児童を育てる」

- 学ぶ楽しさを実感できる、分かる授業作りに努める。
- 自己肯定感を高めるとともに、互いに認め合える集団をつくる。
- 集団への所属意識を高め、互いに支え合える学校・学級経営に努める。

「規則正しい生活習慣を確立する」

- 自分から先に気持ちのよい挨拶ができる児童を育成する。
- その場に合った言葉遣い、相手を思いやる言葉遣いができる児童を育成する。
- ゲームやネット等、ICT機器の活用状況を改善する。
- 個々の実情を把握し、適切な家庭学習ができるよう工夫する。

【保護者からいただいた御意見】

○仲の良いお友達ができたらいいなあと思います。
⇒児童の交友関係に目を向けながら、より良い集団、仲間づくりに努めます。

○特定の子から意地悪される事が多く、やめたと伝えても叩かれたりつねったりされると言っています。その為か今日学校休みたい行きたくないと言う日もあります。2年生～6年生は優しくて休み時間にも遊んでくれると言っていました。
⇒いただいた御意見を基に、一人一人の児童に目を向けて様子を把握するとともに、保護者の皆様との連携を図りながら課題解決に努めます。

○中学校の統合に伴って、通学路で、中学生の自転車が小学生を追い越していくようになりました。危なくなると心配でしたが、小学生は道を譲って自転車を先に行かせたり、中学生もスピードを出して通り過ぎることもなく、お互いが譲り合って通学できているように思います。
このまま、事故のないように安全に通学できたらいいなあと思います。
⇒通学状況の把握や通学路の安全点検を定期的に行い、今後も事故防止に努めます。